

発行：堺アートカウンシル（堺市文化観光局文化国際部文化課内）

発行日：2023.6.7（不定期に発行） お問い合わせ：bunka@city.sakai.lg.jp

プログラム・ディレクターからのメッセージ

「様々な人が関わる芸術の場を」



「さかいとあーと井戸端かいぎ」はじめましての挨拶を身体表現で

くちびるに風を感じて、季節を感じます。先の知れぬコロナ禍でマスクの下に隠していたのは不安や安心など、さまざまな感情だったのだらうと思います。今年の5月から新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、平時に向けての一步が進んだとされています。季節がめぐり忘れてしまう前に、この3年の間に感じて、考えたこと、話し合ったこと、行動したこと・しなかったことをふりかえるのも大事なこともかもしれません。

堺の街でも延期を繰り返して実現した取組もあれば、公演中止となった苦渋の決断も記憶に残っています。不要不急の言葉のもとで文化芸術の活動はそれまでの形をとることが難しくなりましたが、その中でも生きるために芸術が必要だと気づいたこと、芸術との関わり方にもさまざまな工夫がありました。オンライン配信だけではありません。暮らしのなかでささやかな創造の喜びをみつけたり、それらをシェアする仕組みをつくった方もいます。

さて、堺市内で行われた令和4年度の文化芸術活動応援補助金の事業も3月中に全て終了しました。コロナ禍を縫うようにして活動があり、堺アートカウンシル

（以下、堺AC）のメンバーも現場を訪ね相談をお聞きしながら事業を見守りました。また、令和5年度は34件の事業が採択されました（申請47件）。幅広い分野からの申請があり、堺における文化芸術の裾野が広がっていると感じています。子どもや子育て中の方、障がいのある方など、多くの方に参加いただきたいと心から願っています。そして、文化芸術活動に関する相談事があればお話しに来ていただきたく、プログラム・ディレクター（以下、PD）の上田が市役所でお待ちしている日程をTwitterにあげています。前述の採択事業の紹介もしていますので、ぜひ堺ACのTwitterのフォローをお願いします。

堺に文化芸術の風が吹き渡り、新しい出会いが生まれますように。

プログラム・ディレクター 上田假奈代

開催レポート | 令和4年度 地域でのアート活動を学ぶ勉強会 第3回「自分のための活動の振り返りかた」

堺ACでは、堺市で文化芸術活動をする方、興味のある方向けに、学びの場としての勉強会を開催しています。第3回は年度末というタイミングに合わせて「活動の振り返り」をテーマに、3月6日（月）に堺市総合福祉会館にて開催しました。講師は大澤寅雄プログラム・オフィサー（以下、PO）、進行は中脇健児PO。伝統芸能、音楽、美術など様々な分野で活動する方たち8名が参加されました。

自己紹介では、参加者が自身の活動ジャンルや団体での役割などとともに、振り返りについての素朴な疑問・質問も発表していきます。

参加者のみなさんが、どんな課題を持っているかが見えてきたところで、大澤POのレクチャーが始まります。

まずは、振り返りとは、計画して実行して確認して改善し、また計画するというサイクルの「確認」にあた

るものだというところから。つまり、次の計画に活かすためにするのが振り返りということです。次に振り返りのパターンについて。活動を「いつ」「誰と」「どのように」振り返るかによって、確認できる内容も変わってくることを、具体的な事例をあげながら、説明していきます。「いつ」であれば、活動直後に会場で行うのと、数日後に事務所で行うのとの違い、「誰と」であれば、仲間うちで行うのと、観客や協力者などで行うのとの違い、「どのように」であれば、話し合いやインタビュー、アンケート、実績値の整理分析、SNSの投稿チェック、外部評価の依頼などによる違いがあるとのこと。



振り返りと一言でいっても、実はいろいろなパターンがあることが共有されたあと、参加者から挙げた課題を解決するには、これらをどう役立てていけばいいのか、中脇POが、大澤POに質問していきます。

Q「参加者を増やしていくためには」 A「参加したことのない人になぜ参加しなかったかインタビューしてみる」、Q「落ち込まない振り返りかたは」 A「インタビューなど言葉だときつても、数字で答えてもらうことで気持ちが切り離せることもある」などなど。それぞれの課題に対する、振り返りのアイデアが提案されたところで、グループ毎のフリートークに移ります。ご自身の活動のチラシを見せて他の人から意見をもらうなど「参加したことがない人へのインタビュー」を早速実践されている参加者の方もいらっしゃいました。

最後、各グループのフリートークの内容を全体で共有

し、勉強会自体を振り返りました。振り返りフリートークの中で、イベントが終了時間ギリギリに終わるとアンケートを書いてもらえない、という話題がでたことから、しっかりアンケート記入の時間を残して閉会となりました。(PO：宮浦直子)

発行案内 |

地域でアート活動をするためのヒント集

アートや文化芸術に興味があり、自分ひとりで取り組むだけでなく、誰かと一緒に活動してみたいと思う方、地域活動や福祉・医療・教育・子育てなどに携わっているなかで、アートを取り入れてみたいと考えている方、また、文化芸術活動をしているけれど、活動や運営の難しさを感じている方に向けて、ヒント集をつくりました。これまで堺ACに寄せられてきた相談をもとに、PD・POがそれぞれの実務経験を生かして、まとめています。



ヒント集掲載ページ

ヒント集は、ホームページ (HP) の「文化芸術活動に関する相談・対話」ページ (上記QRコード) よりPDFファイルでダウンロードできるほか、文化会館・図書館等でも配架しています。

ご自身の活動内容に沿ったヒントや、より具体的なアドバイスが必要な方は、ぜひ個別相談をご活用ください。また、勉強会・交流会は文化芸術活動を行う方同士が相互に学び合う場ともなっています。ぜひお気軽にご参加ください。開催日時等はHP、Twitterをご覧ください。

堺アーツカウンシルでは、堺市ホームページ、Twitterなどで、情報を発信しています。

ホームページ：堺市ホームページ (<https://www.city.sakai.lg.jp/>) 内。

画面右上「目的別検索」にて「堺アーツカウンシル」で検索。

Twitterアカウント：@SAC_sakaibunka



ホームページ



Twitter